

# 会社紹介

2026年4月1日

シーエックスアールグループ  
有限会社丸重屋

# 会社概要

## ■会社名

有限会社丸重屋 [ マルシゲヤ。 ]

## ■代表

平手克治

## ■本店所在地

京都府京都市山科区勧修寺平田町57

## ■支店等

宇治オフィス / 月島オフィス /  
東京技術センター / 広島技術センター

## ■設立

2003年

## ■社員数

33人（出向社員等含む）

## ■事業内容

橋梁等大型土木構造物点検・調査  
各種非破壊検査

## ■資格者一覧

博士（工学）	2		
◆建設コンサルタントの資格		◆非破壊検査技術者の資格	
技術士総合管理部門	6	放射線透過試験レベル3	1
技術士建設部門	12	放射線透過試験レベル2	5
RCCM	6	超音波探傷試験レベル3	1
インフラ調査士	5	超音波探傷試験レベル2	6
道路橋点検士	2	磁気探傷試験レベル2	5
コンクリート診断士	2	浸透探傷試験レベル3	3
コンクリート構造診断士	1	浸透探傷試験レベル2	7
土木鋼構造診断士	1	C I W P T 上級検査技術者	1
測量士	2	C I W U T 検査技術者	2
一級土木施工管理技士	7	W E S 溶接管理技術者 1級	1
ドローン測量管理士	3	建築鉄骨製品検査技術者	1
一等無人航空機操縦士	1	建築鉄骨超音波検査技術者	2
二等無人航空機操縦士	3	第二種放射線取扱主任者	2
		エックス線作業主任者	4
		ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3
		配筋探査技術者（土木・建築）	1
		コンクリートの反発度の測定技術者	1
		コンクリート中性化試験（ドリル法）	1

# 会社概要

## ■許可・登録

○建設コンサルタント 建03第10426号

[登録部門]

鋼構造及びコンクリート / 土質及び基礎 / トンネル / 河川、砂防及び海岸・海洋 /  
鉄道 / 施工計画、施工設備及び積算 / 建設環境

○測量業 第(3)-34346号

○建設業 京都府知事許可（般-6）第40312号

[登録部門]

とび・土工工事業 / 鋼構造物工事業

## 認定実績



# 丸重屋の業務領域



## メンテナンス業務

橋梁・ダム・法面・砂防  
プラント・河川・道路・トンネル

## 非破壊点検業務

プラント・橋梁・道路・法面

## 新技術活用業務

橋梁・ダム・法面・砂防  
プラント・河川・外壁等

## DX業務

橋梁・道路・プラント  
都市計画等

## 教育・学習業務

講師派遣・事業構築補助  
認定資格問題作成

# メンテナンス業務(定期点検・日常点検)



## インフラ総合コンサルタントとして

道路インフラの維持管理における課題に対して、点検・診断から検討・設計、計画・マネジメントまでのサービスを提供し、効率的なソリューションを提案します。新技術やAIを活用した技術の導入、長寿命化計画の策定など、道路施設の持続可能な管理を支援します。また、限られた予算で効率的な維持管理を実現するための方策も提案します。

## 主な業務

丸重屋の創業以来、最も多くの実績を誇る点検が橋梁点検です。近年では橋梁点検で培われたノウハウを活かしインフラメンテナンスを行っています。管理するだけでなく、様々な立場としてインフラメンテナンスに携わり最適解を提案いたします。

## 主な業務実績

京都府京都市	令和4年度橋りょう点検(その2)業務委託
京都府京都市	令和4年度道路トンネル定期点検業務委託(その1)
東京都杉並区	杉並清掃工場専用地下道外1施設定期点検委託
東京都江東区	砂潮橋予備設計委託
東京都江東区	砂潮橋詳細設計委託

# 非破壊検査業務(詳細点検・調査)



## 非破壊検査

構造物を壊すことなく目に見えない損傷や劣化状況を検査する、いわば「構造物の内科医」の役割を担っています。丸重屋では多くの社員が非破壊検査資格を保有しており現場経験を重ね、確かな技術で非破壊検査に従事しています。特に橋梁に対しての非破壊検査は専門の非破壊検査技術を持っており、経験を積んだ有資格者が『地域の人たちの安全と安心を守る』ため、より精度が高い検査を実施しています。

## オール・イン・ワン・ソリューション

点検が専門の会社である特徴を最大限に活かし、非破壊検査の結果から通常点検への対応策の構築など、日常点検と詳細点検の垣根をなくし限られた人員・予算の中でより効率的にインフラを維持管理を実施するための方策立案し実行します。

## 対応技術

内部検出：超音波探傷検査（UT）、放射線検査（RT）  
赤外線サーモグラフィ（TT）  
外部検出：磁粉探傷検査（MT）、浸透探傷検査（PT）  
減肉調査：超音波厚さ測定  
その他：支柱路面境界部検査 等

# 新技術点検への取り組み(ドローン・BIM/CIM)



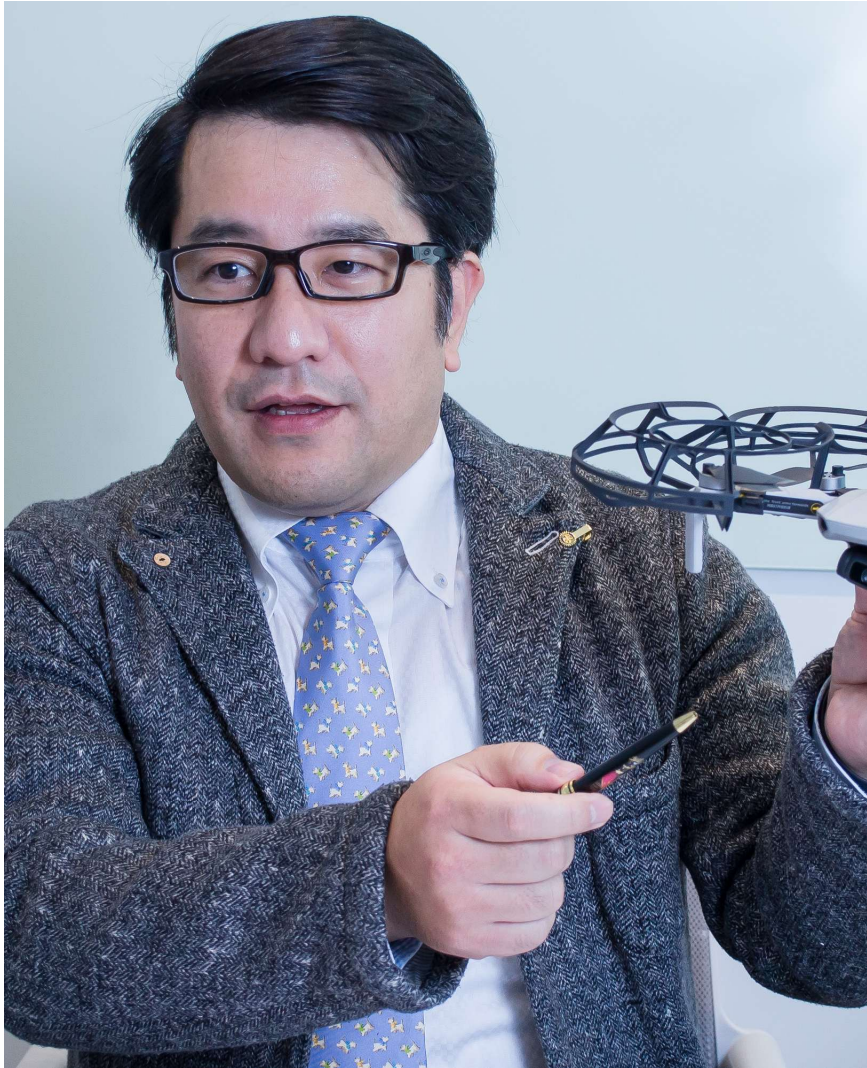
## ドローンソリューション

丸重屋は、インフラメンテナンスに特化したドローン技術を持っています。特に橋梁点検分野では、業界のトップランナーとして多くの実績を積み重ねており、さまざまなインフラメンテナンス現場でドローンの有用性を実証してきました。また、ドローンから取得したデータを主にSfM (Structure from Motion) を活用して3Dモデル化することで、イノベーションを推進しています。対象施設として橋梁、ダム、法面、砂防プラント、河川等の現場で実施しています。

## BIM/CIM

国土交通省におけるBIM/CIM原則適用をはじめとして、市場変化への対応が求められています。BIM/CIMを活用することで、ミスや手戻りの大幅な減少に加え、新規に設置する設備や更新後の機器設置イメージを現実に近い形で表現することができ、設計時の合意形成をスムーズに図ることができます。丸重屋では、橋梁の施工時の仮設状況などをBIM/CIMモデルで構築し、インフラの整備・維持管理に有効に活用できるよう提案します。

# 教育・事業開発補助業務



## 講習会・講師派遣

労働人口の減少により、業界で培ってきた技術や知識が失われつつあります。丸重屋は、自社だけでノウハウを所有することでは業界全体の底上げにはならないと考えています。そのため、積極的に講習会の実施や講師派遣などを行い、他の企業や専門家との知識共有を推進しています。これにより、業界全体の技術レベルを向上させ、持続可能な社会インフラの整備・維持管理に貢献しています。

## 事業開発補助

新技術、特にドローンを含む革新的な技術は、単なる特別な技術ではなく、インフラメンテナンスの標準的な一部として位置づけるべきだと考えています。しかし、現実にはドローンを新規事業として立ち上げる際には、さまざまなハードルが存在します。丸重屋は、ドローン事業をゼロから立ち上げた経験を持ち、その知見を活用して業界他社に対してドローン事業開発のサポートを行っています。私たちは、持続可能な社会インフラの整備・維持管理に向けて、新技術の普及と標準化を推進しています。

# 業務実績

# 元請け業務実績

2014年から2025年8月まで合計86件の元請プロジェクトを成功させ、着実に業務を拡大。

年度別実績

2014年	1
2015年	1
2016年	1
2017年	8
2018年	12
2019年	6
2020年	6
2021年	9
2022年	9
2023年	13
2024年	10
2025年(8月末)	10

種類別実績

構造物調査・ 点検、設計	70
測量	11
非破壊検査	4
運営支援	1

規模別実績

500万円未満	57
500万円以上	29

発注者別実績

大学法人(研究)	32
京都市	23
首都高技術(株)	7
江東区	6
宇治市	6
国立研究開発法人 土木研究所	2
工業高等学校 (研究)	2
その他	8

合計 86件

86件 ©2026 marushigeya

86件

86件

# 元請け業務（調査・点検）の一例

	年度別実績	業務の種類	発注者	業務名	業務場所 (都道府県)	業務規模
2025年	10	構造物調査・点検	京都市	門型標識定期点検業務委託	京都府	500万円以上
2024年	10	構造物調査・点検	江東区	橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託	東京都	500万円以下
2023年	13	構造物調査・点検	京都市	小規模附属物点検業務委託（西部土木事務所管内）	京都府	500万円以下
2022年	9	構造物調査・点検	京都市	令和4年度橋りょう点検（その1）業務委託	京都府	500万円以上
		構造物調査・点検	京都市	道路トンネル定期点検業務その1	京都府	500万円以上
2021年	9	構造物調査・点検	京都市	道路トンネル定期点検業務その2	京都府	500万円以上
		構造物調査・点検	京都市	令和3年度橋りょう点検（その1）業務委託	京都府	500万円以上
2020年以前	35	構造物調査・点検	京都市	令和3年度橋りょう点検（その1）業務委託	京都府	500万円以上
合計	86件					

# その1. 社会インフラの点検技術

創業後20年以上にわたって社会インフラの調査・点検を行ってきた実績から、橋梁点検車、高所作業車、ドローン、特殊高所技術など様々な手法により最適な点検方法を提案し、点検から診断、設計、計画、マネジメントまで一貫したプロセス提供が可能です。

## 橋梁点検

- 京都市発注の「令和3年度橋りょう点検（その1）業務委託」116橋、「令和4年度橋りょう点検（その2）業務委託」131橋の定期点検を実施。
- 橋長5m以下の小規模橋梁から300m以上の長大橋について、徒歩・梯子、高所作業車、橋梁点検車、ドローン、特殊高所技術、ボートなどの手法にて点検を実施。



渡月橋など文化的にも重要な橋梁の点検を行い、点検手法など発注者と協議を行い、高い技術力が要求されました。

## トンネル点検

- 京都市発注の「道路トンネル定期点検業務委託（その1）」6トンネル、「道路トンネル定期点検業務委託（その2）」5トンネルの定期点検を実施。
- 延長30mから1200mのトンネルについて、トンネル点検車を用いて点検を実施。



5万㎡以上のトンネル定期点検であり、点検技術以外にも工期内に業務を完遂する管理能力が必要な業務でした。

## 道路附属物点検

- 京都市発注の「小規模附属物定期点検業務委託（西部土木事務所管内）」68基の標識定期点検を実施。また、「門型標識定期点検業務委託」20基の門型標識定期点検を受注。
- 道路標識点検（片持ち式）、門型標識点検（2車線から6車線）の定期点検を実施。



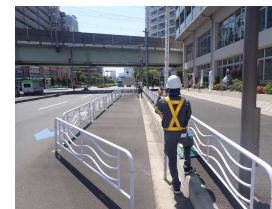
市街地での標識点検であり、交通規制による渋滞を最小限にするために、迅速で確実な点検が要求されました。

# その1-1. 江東区橋梁長寿命化修繕計画策定業務

地元江東区の地の利を生かし、最適な点検手法の検討と工程を設定し、無理・無駄・ムラの無い点検実施計画を策定。長寿命化検討においても今後100年間のLCCを算出・橋梁点検要領の改定を念頭に準備しました。

## 江東区の特性を水準測量・交通量調査で調査

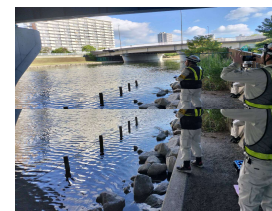
- 埋め立て地である江東区の特性として臨海部は軟弱地盤の為、橋梁の基礎工が変位を起こしている橋梁が複数存在する。5年おきに軟弱地盤地域の橋梁基礎工の変位を水準測量をもって調査。
- 今後増大する橋梁の維持管理費縮減を念頭に橋梁の集約・撤去を検討する為区民の橋梁の利用状況を調査し基礎情報とした。



本業務では、関東大震災後に架設された復興橋梁が多数ありました。また、橋齢100年超の歴史的・技術的に貴重な橋が多く、どのように保存するかを検討が必要となり基礎情報を集めました。

## いざ！橋梁点検

- 新技術の導入が初めての江東区にドローンでの点検の優位性などをアピール。コンクリート製橋脚をオルソモザイク化しAIのひび割れ検出を実施し定量的なデータを収集した。
- 日本で2台しかない特殊車両 橋梁点検車ABC1700を江東区内で初導入！作業効率を上げ日当たり単価は高くとも工程を短くすることでコスト縮減を図る。



今回のAIひび割れ検出は、「5年後の次回点検における損傷の進展の有無を図るベンチマークとなる」芝浦工大の担当教授よりお言葉をいただきました。

## 長寿命化修繕計画の策定と橋梁点検要領の改定

- 各調査で得られた結果を集約し劣化曲線を算出して江東区管内85橋の100年間のLCCを算出。今後10年間の修繕対象橋梁の優先順位を策定。
- 国土交通省より通達があった「技術的助言」を取り入れた洗堀・塩害・コンクリートの中性化の調査を取り入れた橋梁点検要領を改定。



橋梁長寿命化修繕計画は以前の内容を上回る詳細な検討を行った結果、江東区はもとより東京都からもその内容について高い評価を受ける事になりました。

## その2. ドローンを用いた点検能力

ドローン点検の領域においては2025年8月時点で426件の実績数を多岐に渡るインフラで実績を有しており、特に橋梁では365施設と国内トップレベルの実績を誇ります。

**ドローン点検実施数：426施設** ※2025年8月現在

### 橋梁

RC橋、鋼橋、様々な構造に対してドローン点検実績多数、通常点検の実績より状況に応じて精度管理も可能

### 長大橋

200mから1000mの長大橋でのドローン実績多数あり、複数のドローンを組み合わせることにより工数の削減も実施

365施設

### 砂防・法面

20施設

安全管理が難しく、環境要件に左右されやすい法面でも点検実績あり。複数の特徴のある機体から最適な点検方法を提案可能

### 水管橋

橋梁点検で培ってきた経験を活用し点検を実施、素材が鋼部材であるため、非GPS型ドローンをメインに対応

### 特殊橋梁

特徴のある特殊構造の橋梁でもドローン点検実績多数あり、代表的な例として余部鉄橋等もドローン点検を実施

### ダム

3施設

外面及び内面、通路等、様々なダムの要点検箇所での点検実績あり、自律飛行なども組み合わせ、今までできなかった箇所も対応

### プラント施設

15施設

施設が持つ特色や環境要件に柔軟に対応、プラント側が求める3D技術などにも対応し複数。複数の特徴のある機体から最適な点検を実施

### 河川

20施設

河川内巡視及び、河川内施設の現状把握等や災害状況把握、また河川内の植生状況や斜面を広範囲オルソモザイクを作成の実績あり

### その他

建物の外壁点検等の実施、各種実証実験に参加し、次世代のドローン活用を各機関と連携し実施

# その2-1. ドローンを用いた点検能力

## 大型構造物に対する競合優位性

- ドローンに関する業務は空撮だけでなく、**撮影前（自治体協議から計画、機械選定）、撮影中（現場空撮、スクリーニングを通じた大型構造物の特性・環境特性に基づいた状態把握）、撮影後（取得データ整理し、データ診断、納品先のフォーマットでの成果物作成、要望により3Dモデル化）**と、多岐に渡ります。
- ドローンサービスを取り扱う会社の多くはドローンを使用した空撮部分に特化している一方、当社は**大型構造物に対する知見も有していることから、ドローンに関するすべての業務を請け負うことが可能です（ドローン資格者だけでなく**インフラ構造物全般を診断できる資格者がドローンを活用した業務を実施**）**。

## 牛深ハイヤ大橋

- 熊本県天草市牛深湾に1997年に竣工した**全長883mの7径間連続鋼床版曲線箱桁橋で、県内最長**
- イタリアの建築家レンゾ・ピアノ設計による「海上に浮遊した一本の線」をコンセプトに張出し架設や浮遊感を生む曲線下フランジを採用した点で技術的に優れており、空力応答を抑制する風除板（フラップ）と分離歩道により振動対策と良好な景観を両立



張り出し板が特徴的な橋梁であり、従来の橋梁点検方法では調査ができなかった。そこで、ドローンによる点検技術が求められた極めて難易度の高い橋梁でした。

## 一之橋

- 熊本県宇城市三角町に位置し、明治18年(1885年)の第一期工事で完成した石造単桁道路橋
- 橋長2.4m、幅員約9.2mの規模ながら切石積みアーチが堅牢性を確保。**近代港湾の技術**を今に伝える**重要文化財の一つとして2002年12月に指定された橋梁**



1885年竣工の橋梁であり、一般的な現在の橋梁点検手法では診断できない高度な知識が必要な橋梁でした。※3D対応業務

## 余部鉄橋

- 1912年当時では国内最大級のスチール製トラス橋で高さ約41m・全長310m。深い渓谷に足場を組まずに架設できる張出し工法を採用し、急峻な地形と厳しい日本海気候に耐える頑強さを保持
- 全てリベット接合された構造はメンテナンス性・耐久性に優れ、長期にわたり安全な運行を支え続けた点で技術的に非常に優れていた橋梁



本橋も一之橋橋梁と同様に1912年竣工の橋梁であり、高度な知識が求められる橋梁である。また、従来の橋梁点検手法では点検ができずドローンによる点検が必要となった調査難易度の高い橋梁でした。



# 会社HP・問い合わせ

---

有限会社丸重屋 [マルシゲヤ。]

平手 [ヒラテ]

mobile:090-2066-9263

mail:hirate@marushigeya.com

